

西丹沢 ひのきだっか山行記録

記：鳥切昇治



雨山から檜岳(ひのきだっか)を望む

期 日：2019年4月28日(日) 天候：晴

山 域：西丹沢 檜岳(1167m)

メンバー：エミさん 鳥切昇治

先月登ったミツバ岳の帰り道、エミさんが西丹沢の「ひのきだっか」に行ってみたい、と言った。何それ...「ひのきだっか」？思わず聞き返した。今まで聞いたことがない山だった。余り人が入っていない山なので一人で行くには不安があると言う。

自宅に帰り地図を見ると鍋割山の南西方向に檜岳(1167m)と言う山がある。エミさんに聞くとその山だと言う。その時は、登る気になったら同行する旨伝えた。

GW前半の4月28日、檜岳(ひのきだっか)に二人で寄(やどりき)～雨山峠～檜岳～伊勢沢ノ頭～シダゴ山～寄のコースを歩くことにした。行ってみると予想に反してコース整備が良くされており、標識も整っていて、新緑の中を楽しく歩くことが出来た。

当初の計画では檜岳から伊勢沢ノ頭～シダンゴ山を歩き、寄に下る予定だったが、市販地図にない檜岳から寄大橋に下る道を探し、この道を下山した。檜岳からこの道に入る所が分かり難かった。道は明瞭だったが林業の為の道の様で登山道ではない感じだった。おかげで2時間半程短縮して下山した。

行動記録

コースタイム

寄大橋 6:40—9:00 雨山峠 9:15—9:47 雨山 9:51—10:20 檜岳 10:46—11:29 753mピーク 11:35—12:23 集会棟 12:33—12:37 寄大橋

寄(やどりき)に向かう途中、丹沢と箱根の山が白くなっているのが見えた。昨日の雨が高い山は雪になったようだ。寄に着く頃、道路標示の温度は0度だった。今朝は冷え込んで寒かった。今日歩くコースは8時間半の長丁場なので自宅を5時に出発した。車中で相談し、シダンゴ山の方に行かずに檜岳から下る道を探し下山することに決め、車を寄大橋手前左側の駐車スペースに停める。既に3台が駐車していた。

閉まっているゲートの左側を抜けると寄・みんなの森管理棟があり、山行計画書を提出する。舗装された道を行くと集会棟と休憩棟が左側に見えて来る。ここはやどりき水源の森林造り活動をする為に整備されているようだ。舗装が



車を寄大橋手前左側に駐車

切れ寄沢左岸の道を登る。何度か寄沢を渡る。水量が少ないので問題はなく、道も明瞭で黄色の標識が要所にあり、高度を上げて行く。日が射して来て暖かさを感じる。源流に近くなり寄



閉まっているゲートの先に管理棟が見える

コシバ沢から左手の寄沢に回り込むと狭い沢筋を登るようになる。鋼製足場の階段を登ると雨山峠に着いた。木のテーブルがあり樹間から白い富士山が見えた。ここまでの沢筋の道は



捲き道の鎖場を登る

特に問題はなかったが1ヶ所だけ分かり難い所があった。途中4人の人に会ったがGWにしては静かな山歩きだ。



雨山峠に着いた

のフカフカの道を歩いて行くと雨山山頂に着いた。山頂から少し離れた所から真っ白い富士山が見えた。



雨山から真っ白い富士山が見えた

雨山から一旦下り登り返す。雑木林の中に点々と天然と思われる檜が見える。これが檜岳の由来となったのかな。こんもりとした所に出た。檜岳山頂の様で、テーブルの側に檜岳の標識が立っていた。テーブルに座っていた登山者に写真を撮って貰う。山頂の三角点を探していると20m程離れた少し高い所に三角点は埋もれるようにあった。樹間から雪をまとった檜洞、蛭ヶ岳、丹沢山、塔ノ岳の山並みが見えた。



正面の鋼製階段を登れば雨山峠

一息入ってから雨山に向う。尾根筋の雑木林の中の急登を登る。イワツツジがきれいに咲いていて彩を添える。傾斜が緩くなり雑木林の中



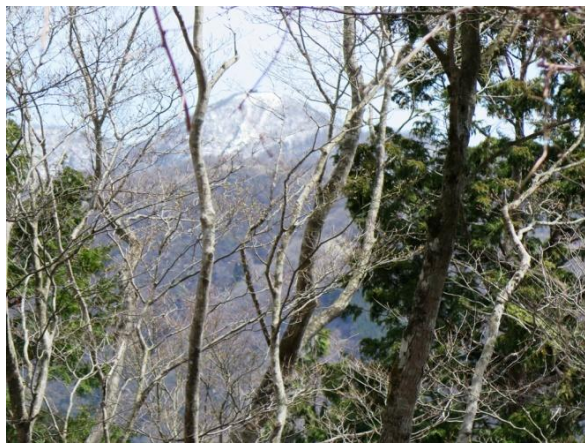
雨山山頂(相模湾、大島の眺めが良かった)



檜岳山頂に到着



檜岳山頂の三角点(樹間から蛭、丹沢山、塔が)



樹間から雪化粧の蛭ヶ岳が見えた

テーブルで一休みしながらエミさんがアマゾンで入手したと言う地図を開き、下山ルートを検討する。檜岳から南東側に伸びる尾根に道が付いていて、寄大橋の集会棟の近くに下りる。行ってみる事にする。昼食にはまだ早いので軽く腹に詰め込んで出発する。

伊勢沢ノ頭方向に注意しながら歩き標識の所まで行くが下り口が見つからない。二人でしばらく探す。すると檜・杉林の中に道を見付けた。

この道を下ることにする。檜・杉林の中の急坂をジグザグに下る。尾根筋は雑木林で上から見て左側が植林された檜・杉林になっている。40分程下り、コルに着いた。その先に753mピークが見える。地図で確認したピークのような。間違えないで下って来てホッとする。

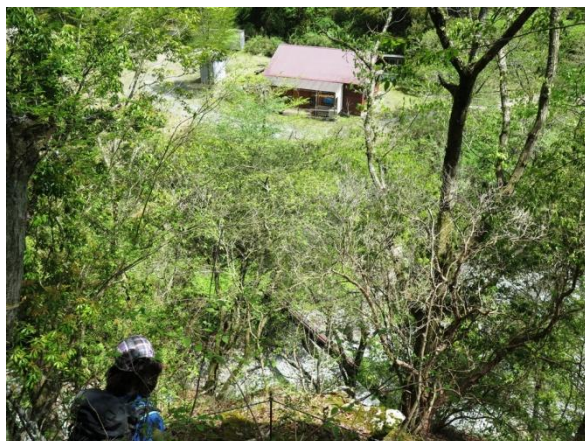
ピークを左に捲いて檜・杉林の中の道を下って行くと真新しい掲示板が立っている所に出た。周遊歩道Aに出た様だ。掲示板は成長の森案



753mピーク手前のコルに着いた



掲示板は成長の森の案内図



集会棟が見えて来た

内図と二つあり、もう一つに大勢の名前が刻まれていた。赤ちゃんが生まれた家族から苗木を寄付して頂いた人達の名前のようだ。

寄沢まで下る。寄沢を石伝いに渡渉して集会棟の所に出て寄大橋に戻った。寄大橋の袂で昼食をとってから帰路に着いた。

《参考》歩行距離:9.4km 高低差:747m 累積上り/下り:938m/949m

以上